

令和6年度 人口移動調査（アンケート）結果報告書

1	調査の概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査対象者	1
(3)	調査の方法	1
(4)	調査の期間	1
(5)	回答件数	1
(6)	留意事項	1
2	調査結果（転入者）	3
(1)	回答者の年齢	3
(2)	回答者の性別	3
(3)	回答者の丹波市転入後の家族構成	4
(4)	回答者の丹波市転入後の職業	4
(5)	回答者のお住まいの地域	5
(6)	丹波市転入前の居住地	6
(7)	丹波市転入前の居住地での居住期間	7
(8)	丹波市に転入したきっかけ	8
(9)	丹波市を転入先として選んだ理由	9
(10)	移住先を検討する際、丹波市以外の自治体を検討しましたか。	10
(11)	丹波市で住み続けていくためには、どんなことがあればいいと思いますか。	11
3	調査結果（転出者）	14
(1)	回答者の年齢	14
(2)	回答者の性別	14
(3)	回答者の丹波市在住時の家族構成	15
(4)	回答者の丹波市在住時の職業	15
(5)	回答者の丹波市でのお住まいの地域	16
(6)	丹波市転出後の居住地	17
(7)	丹波市での居住期間	18
(8)	丹波市から転出したきっかけ	18
(9)	現在の居住地を転出先として選んだ理由	19
(10)	移住先を検討する際、今の居住地以外の自治体を検討しましたか。	20
(11)	これから丹波市がどうなれば、どういうことがあれば丹波市へ帰ってきたいと思いますか。	22

令和6年10月22日

丹波市ふるさと創造部ふるさと定住促進課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

令和5年度の転入出者を対象に、その属性や移動時の状況等を明らかにするとともに、前回実施した調査の結果と比較することで、その調査結果を移住施策等に役立てることを目的に、アンケート調査を実施したものである。

(2) 調査対象者

18歳～75歳（昭和24年4月2日から平成18年4月1日生まれ）で住民基本台帳に基づく転入又は転出の日付が令和5年度中となっているものから、無作為抽出によって転入者500人、転出者500人、合計1,000人を調査対象者とした。

調査対象者は、1世帯につき1人まで（世帯主か否かを問わない）とし、転入前に同一世帯に属していた者が転出後に別世帯に転出した場合はそれぞれの住所ごとに別世帯として取り扱うこととした。

なお、調査対象者1,000人のうち、調査案内を郵送したものの、宛先不明等の理由により郵便返送があったものが20人（転入者6人、転出者14人）あり、実際に調査案内を郵送することができた（返送がなかった）のは、転入者494人、転出者486人、合計980人となる。

(3) 調査の方法

調査対象者にアンケートの回答方法を記載した調査案内を郵送し、回答はLoGoフォームを用いて、同一のパソコンから重複回答に一定の制限を設けたうえで、実施した。

(4) 調査の期間

令和6年8月22日（木）～令和6年9月4日（水） 14日間

(5) 回答件数

199件（980人中、回答率20.3%）。うち、転入112件（494人中、回答率22.7%）転出87件（486人中、回答率17.9%）。

(6) 留意事項

本文中の設問の選択肢及び自由記述について、文字数が多いものは簡略化している場合がある。また、各項目の構成比について端数処理を行っているため、合計が100%にならない場合がある。

回答者が「その他」を選択した場合で、「その他」の内容についての記述から他の選択肢に合致すると判断できる場合は、「その他」ではなく当該選択肢での回答としている場合がある。

【前回調査】

○調査対象者

昭和23年4月2日から平成17年4月1日生まれで令和4年度中の転入者・転出者各500人、合計1,000人。郵送できたのは郵便返送を除き転入者499人、転出者470人、合計969人。

○調査の方法

調査対象者にアンケートの回答方法を記載した調査案内を郵送し、市ホームページシステムのアンケートフォームを用いて、同一のパソコンから重複回答に一定の制限を設けたうえで、実施した。

○調査の期間

令和5年8月9日（水）～令和5年8月22日（火） 14日間

○回答件数

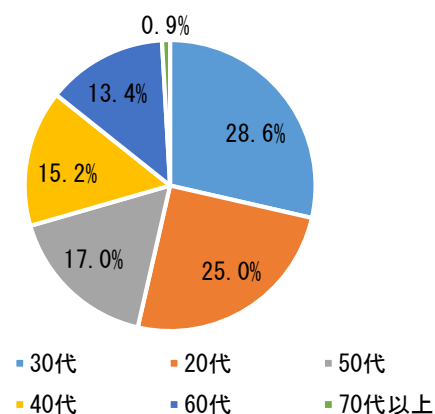
154件（969人中、回答率15.9%）。うち、転入107件（499人中、回答率21.4%）転出47件（470人中、回答率10.0%）。

2 調査結果（転入者）

（1）回答者の年齢（選択式）

回答者の年齢は、20代、30代が全体の半分以上を占めている。昨年同様、10代の回答者はいなかった。

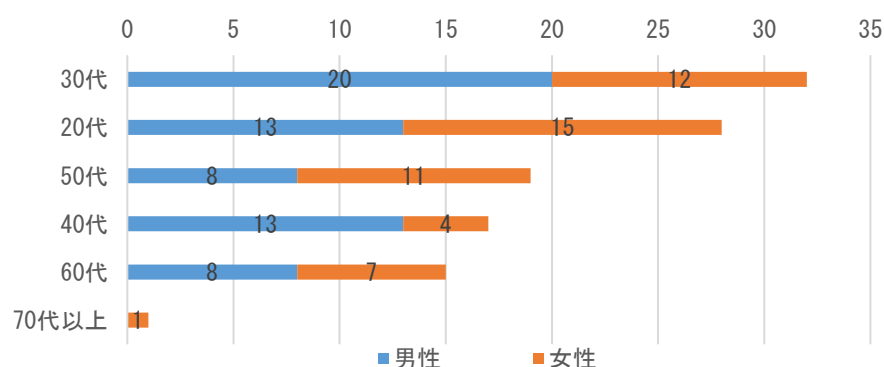
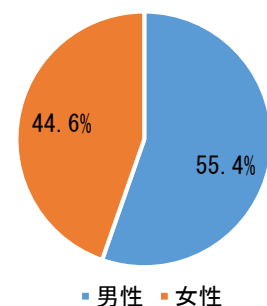
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
20代	28	25.0%	35	32.7%
30代	32	28.6%	28	26.2%
40代	17	15.2%	17	15.9%
50代	19	17.0%	16	15.0%
60代	15	13.4%	8	7.5%
70代以上	1	0.9%	3	2.8%
合計	112		107	



（2）回答者の性別（選択式）

回答者の性別は、男性が女性を10ポイント以上上回った。20代、50代、70代では女性の方が多かった一方、40代では女性は男性の3分の1程度だった。

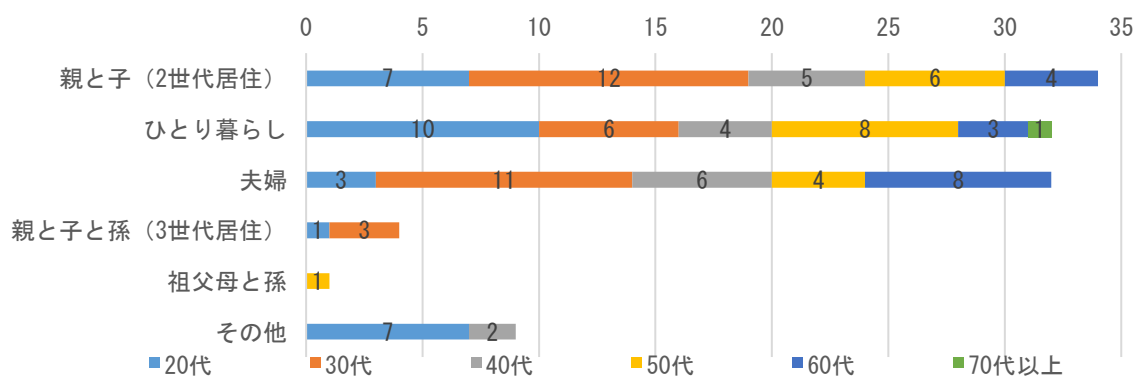
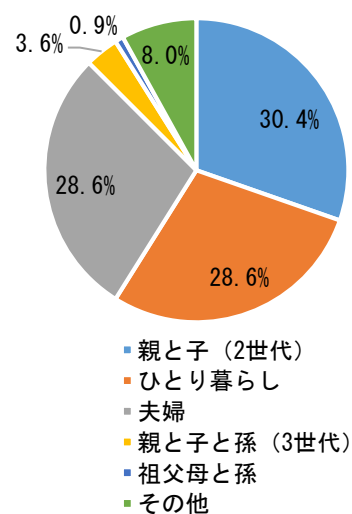
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
男性	62	55.4%	54	50.5%
女性	50	44.6%	53	49.5%
合計	112		107	



（３）回答者の丹波市転入後の家族構成（選択式）

回答者の丹波市での家族構成は、「親と子（２世代）」、「ひとり暮らし」のいずれも減少し、「夫婦」は前回と比べて11.8ポイント増えた。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
親と子（２世代）	34	30.4%	39	36.4%
ひとり暮らし	32	28.6%	37	34.6%
夫婦	32	28.6%	18	16.8%
親と子と孫（３世代）	4	3.6%	4	3.7%
祖父母と孫	1	0.9%	1	0.9%
その他	9	8.0%	8	7.5%
合計	112		107	



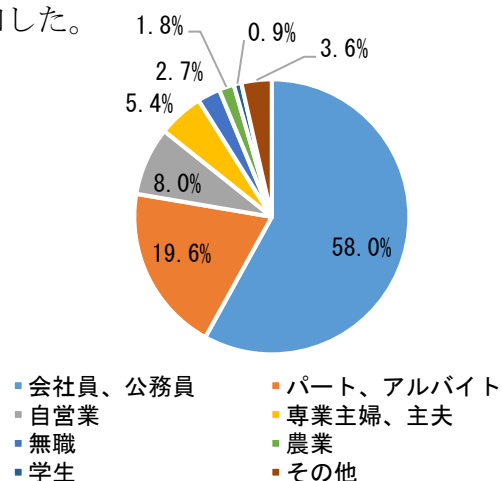
[その他の内容]

同棲、同居人・パートナー・婚約者との同居、夫婦と子と叔父、研修生

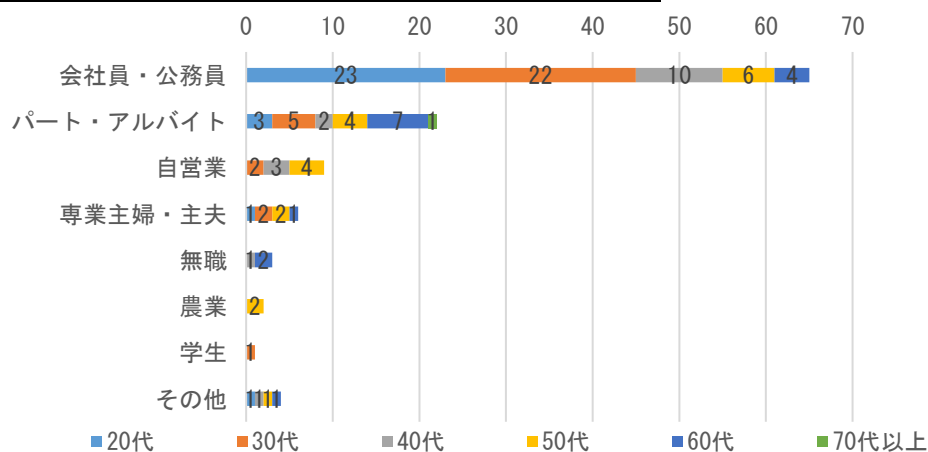
（４）回答者の丹波市転入後の職業（選択式）

回答者の丹波市での職業は、「会社員、公務員」が前回より7.4ポイント減り、「パート、アルバイト」が12.1ポイント増加した。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
会社員、公務員	65	58.0%	70	65.4%
パート、アルバイト	22	19.6%	8	7.5%
自営業	9	8.0%	5	4.7%



専業主婦、主夫	6	5.4%	6	5.6%
無職	3	2.7%	10	9.3%
農業	2	1.8%	2	1.9%
学生	1	0.9%	2	1.9%
その他	4	3.6%	4	3.7%
合計	112		107	



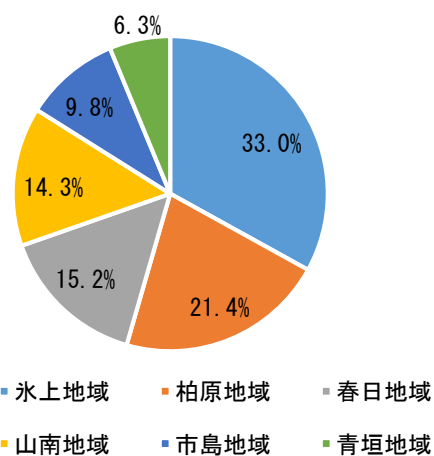
[その他の内容]

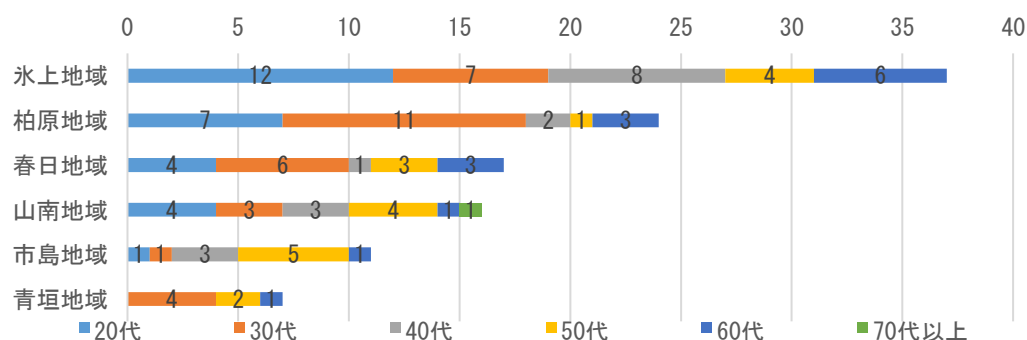
派遣社員、看護師、宗教家、就労を検討中

(5) 回答者のお住まいの地域（選択式）

回答者の居住地域は、氷上地域が33.0%、柏原地域が21.4%、春日地域が15.2%、山南地域が14.3%、市島地域が9.8%、青垣地域が6.3%だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
氷上地域	37	33.0%	33	30.8%
柏原地域	24	21.4%	31	29.0%
春日地域	17	15.2%	12	11.2%
山南地域	16	14.3%	12	11.2%
市島地域	11	9.8%	9	8.4%
青垣地域	7	6.3%	10	9.3%
合計	112		107	

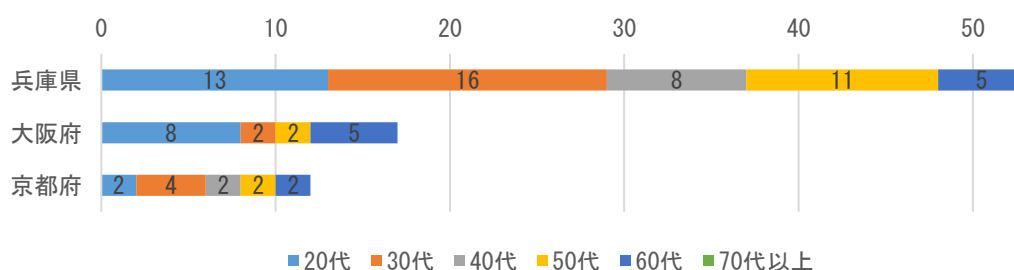
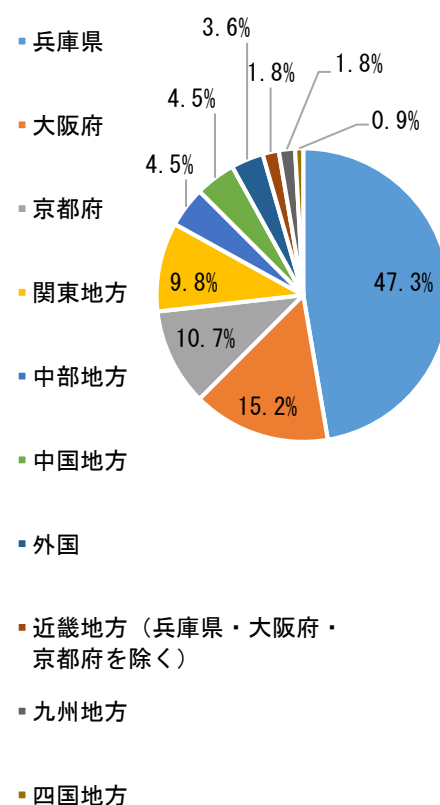




(6) 丹波市転入前の居住地（記述式）

回答者の丹波市転入前の居住地は、前年とほぼ同様の傾向だったが、中国地方がわずかに増え、近畿地方（兵庫・大阪・京都を除く）がわずかに減った。市区町村別では、神戸市（14人）、大阪市（10人）、福知山市（7人）、丹波篠山市（5人）が特に多かった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
兵庫県	53	47.3%	51	47.7%
大阪府	17	15.2%	15	14.0%
京都府	12	10.7%	10	9.3%
関東地方	11	9.8%	10	9.3%
中部地方	5	4.5%	6	5.6%
中国地方	5	4.5%	2	1.9%
外国	4	3.6%	4	3.7%
近畿地方（兵庫・大阪・京都除く）	2	1.8%	6	5.6%
九州地方	2	1.8%	0	-
四国地方	1	0.9%	2	1.9%
北海道	0	-	1	0.9%
合計	112		107	



[上位3府県の詳細内訳]

○ 兵庫県 (53)

神戸市 (14)、丹波篠山市 (5) 西宮市・伊丹市・三田市・洲本市・明石市・姫路市 (3)、西脇市・多可町・宝塚市・高砂市・尼崎市・加古川市 (2)、加東市・新温泉町・美方郡・相生市 (1)

○ 大阪府 (17)

大阪市 (10)、吹田市 (3)、大阪府・大阪狭山市・和泉市・豊中市 (1)

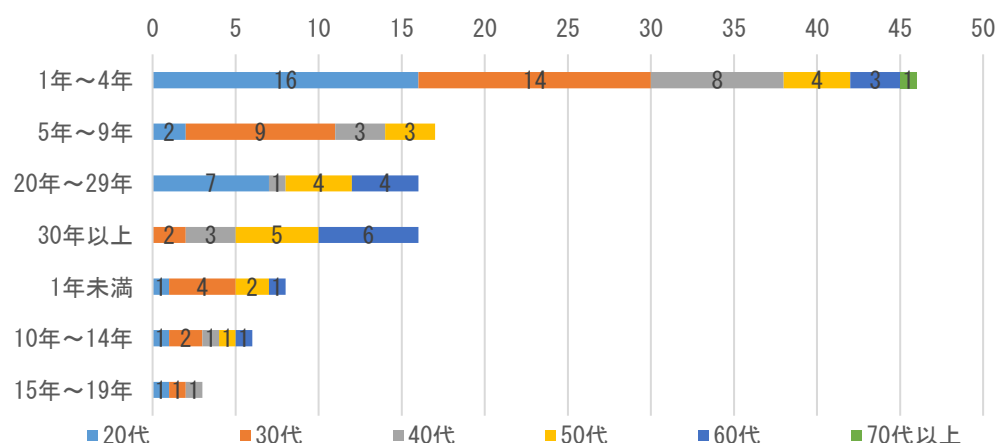
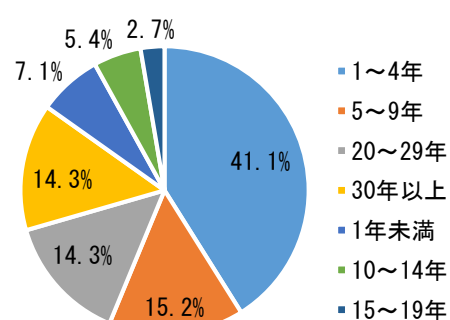
○ 京都府 (12)

福知山市 (7)、京都市 (3)、綾部市 (2)

(7) 丹波市転入前の居住地での居住期間 (記述式)

回答者の転入前の居住地での居住期間は、最も多い1～4年が41.1%で昨年に比べて13.1ポイント増加した。

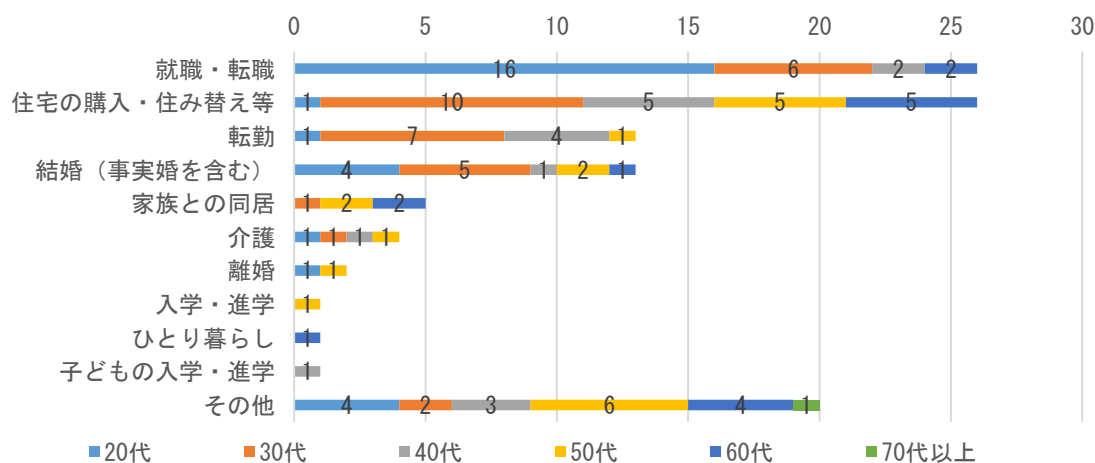
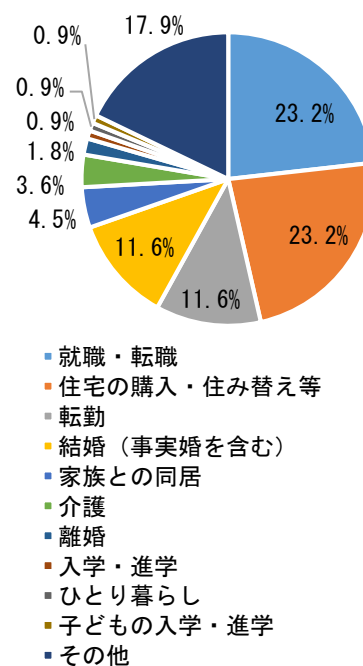
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
1～4年	46	41.1%	30	28.0%
5～9年	17	15.2%	20	18.7%
20～29年	16	14.3%	16	15.0%
30年以上	16	14.3%	20	18.7%
1年未満	8	7.1%	10	9.3%
10～14年	6	5.4%	8	7.5%
15～19年	3	2.7%	3	2.8%
合計	112		107	



(8) 丹波市に転入したきっかけ（選択式）

転入したきっかけは、「就職・転職」と「住宅の購入・住み替え等」が23.2%だった。「就職・転職」は5.8ポイント減り、「住宅の購入・住み替え等」は13.9ポイント増えた。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
就職・転職	26	23.2%	31	29.0%
住宅の購入・住み替え等	26	23.2%	10	9.3%
転勤	13	11.6%	11	10.3%
結婚（事実婚を含む）	13	11.6%	10	9.3%
家族との同居	5	4.5%	6	5.6%
介護	4	3.6%	7	6.5%
離婚	2	1.8%	1	0.9%
入学・進学	1	0.9%	3	2.8%
ひとり暮らし	1	0.9%	2	1.9%
子どもの入学・進学	1	0.9%	2	1.9%
その他	20	17.9%	24	22.4%
合計	112		107	



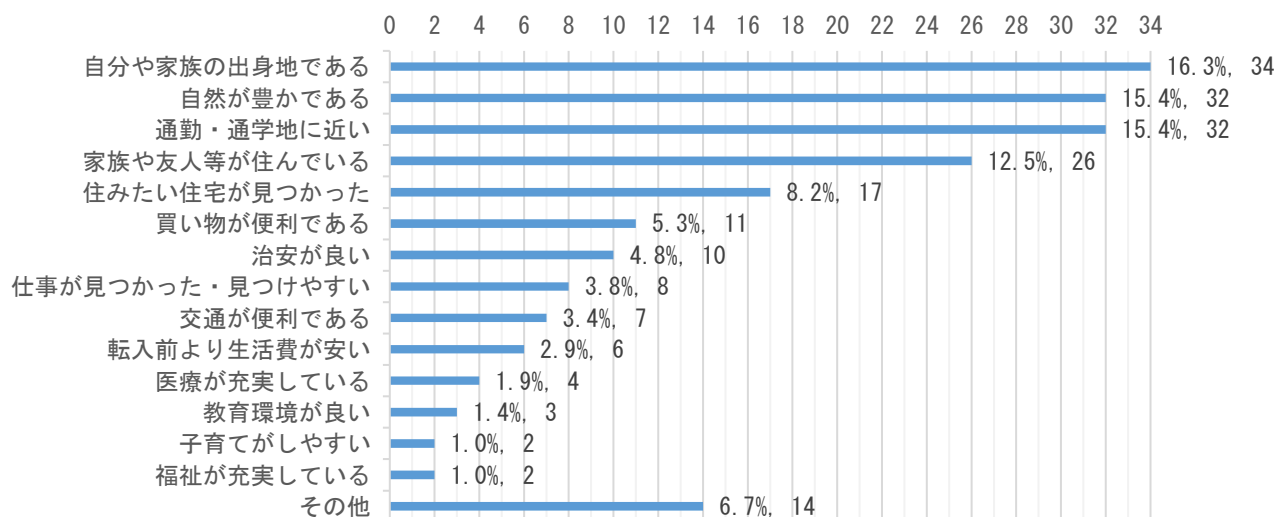
[その他の内容]

移住、療養、仕事の都合、田舎に住みたかった、友人の紹介、元の里、環境悪化、同棲、義父が丹波市出身、技能実習ビザ、趣味のパラグライダー、元の家に戻ってきた、死別と育児のため、自宅が再開発区域となり退去、市営住宅への入居、夫の転勤、叔父の死去、祖母の家の整理、勉強、自分の老後を考えて

(9) 丹波市を転入先として選んだ理由（選択式・複数回答可）

丹波市を選んだ理由は、「自分や家族の出身地である」が16.3%で最も多く、「自然が豊かである」と「通勤・通学地に近い」が15.4%、「家族や友人等が住んでいる」12.5%、「住みたい住宅が見つかった」8.2%が続いた。

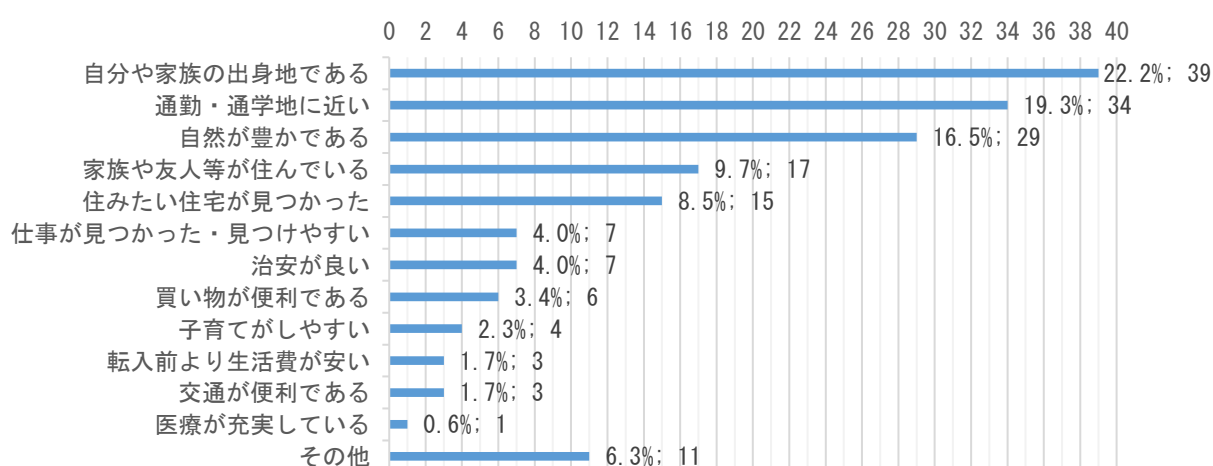
（回答総数：208、回答人数：112人）



[その他の内容]

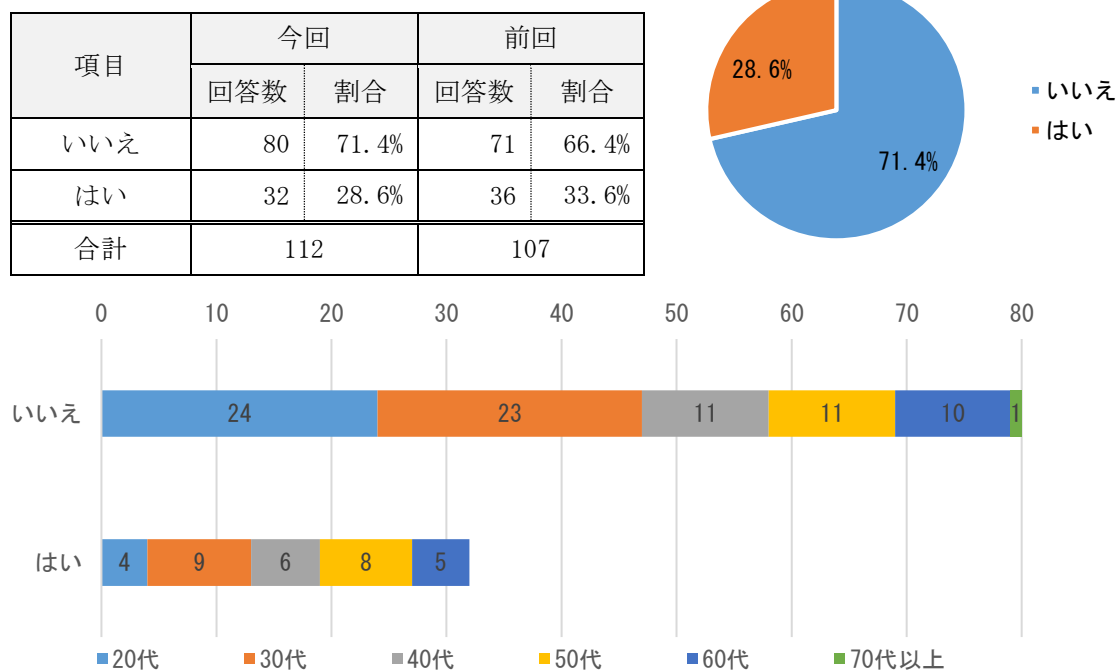
元々自宅がある、本人や親族が土地を持っていた、異動のため、同居人の職場に近い、夫の転勤先がある、会社の指示、位置的な理由、山に鉄塔が建っていない、山からの水があり農業が可能、地元住人が協力的

前回（回答総数：176、回答人数：107人）



(10) 移住先を検討する際、丹波市以外の自治体を検討しましたか。（選択式）

「いいえ」と答えた回答者は71.4%、「はい」と答えた回答者は28.6%だった。



[他に検討した自治体（回答総数:41、回答人数26人）]

丹波市転入時に他に検討した自治体は、丹波篠山市が10で最も多く、三田市が4、京都府が3、神戸市・西脇市・多可町・淡路島・京都府福知山市・長野県・和歌山県が2、但馬地域・大阪府・大阪府大阪市・京都府綾部市・滋賀県・三重県・福井県・長野県白馬村・熊本県天草市・都会が1だった。都道府県別に見ると、多いのは兵庫県が23、京都府が6で、長野県が3、大阪府は2だった。

(11) 丹波市で住み続けていくためには、どんなことがあればいいと思いますか。

(回答者 75 人)

○ 全般

- ・今以上の交通環境、デジタルインフラの整備
- ・ゴミ袋の自由化、若者が丹波市で結婚したり、住み続けることでお祝い金、補助金がでるなどの制度
- ・協議費減額、河川の水量管理強化、洪水予防強化、水道基本料金の安価
- ・家を建てるときの補助金や、子育ての支援などの制度の充実
- ・移住に関する補助金、育児支援制度、高校生までの医療費無償化
- ・水道代、ゴミ袋など日常使うものが高すぎるのももうすこし値段を下げしてほしい。主要の役場が氷上の田舎でなにかと不便。中心部にしてほしい。
- ・シングルでも安全、安心に暮らせるといい
- ・子育て支援の充実、地域イベントの開催やその支援
- ・子育てしやすい環境、一時金補助金の充実、市役所等の対応
- ・医療、教育の充実。高速バス等、都会へのアクセスの良さ。遊具のある公園の充実。
- ・小児科 産婦人科 プラごみの分別なし 大型ショッピングモール 美容院
- ・ゴミ袋代が高くてびっくりしたので、安くなれば助かります。大型ショッピングモールができれば嬉しいです。
- ・労働環境改善へのテコ入れ、先進的な教育環境の整備、豊かな自然を活かす開発

○ 仕事

- ・仕事
- ・働き先の充実
- ・職場が多い。給料が低くない。
- ・働き口の増加
- ・働く職種の選択肢が少ないので、働きたくても働きにくい。もっと若い世代も働けるようなお店が増えて欲しい
- ・まともな就業形態でまともな給与がもらえる職場。
- ・もっと若い世代が定住できる環境づくりが必須です。積極的な企業誘致が必要なのではないでしょうか？また、丹波にある既存の中小企業は古い体質の企業が多く、若者世代にはマッチしない可能性が非常に高いです。ワークライフバランスを考慮した風通しの良い職場の企業をさらに増やす努力を行政でも実施してください。そうすることによって丹波の明るい未来が見えてくると思います。
- ・魅力的な商業施設がもっと多く有れば良いと思う。その為の起業家支援や、既に有る事業者や生産者達が辞めずにすむような対策を積極的に進めてもらいたい。あと、兵庫県のイメージが悪くなるので、県知事への退陣要請をしてもらいたい。
- ・大手企業誘致
- ・循環経済の創出、製造業は先細りが確定、観光は経済の柱として不健全、一次産業の価値付け及び増産、既にあるリソースとアセットを考慮すると○

○ まちの環境

- ・生活に関する必需品が入手困難。気軽に徒歩で行けるような買い物が出来れば住みやすい。スーパーマーケットなど地域には徒歩で行ける店舗は1店舗ほど。競合他社が無いとため 全ての商品が都会の大型ショッピングモールよりも割高で生活していく上での基盤としては考えにくく、難点である
- ・24 時間スーパー

- ・大規模商業施設(ショッピングモール)、柏原の城下町の賑わい
- ・駅周辺に買い物のできる場所を増やす
- ・徒歩で行ける居酒屋
- ・大型ショッピングモール
- ・大型ショッピングセンター
- ・欲を言うならばですが、大規模ショッピングモールがあれば良いと思います。今も日常生活に必要なものは揃いますが、旅先で同じ系列のモールがあり思いました。
- ・商業施設の発達
- ・医療・商業施設の充実
- ・福利厚生や商業施設、イベントの維持・向上
- ・会館での催し ???フェス おばあちゃんの里での歌の祭典 クラシックカーの祭典と陶器、絵画のような組み合わせてすればもっとクラシックカーを見る人もクラシックカーをお持ちの方々も楽しむことができるのではないのでしょうか?? 一石二鳥という言葉が好きで一つのところで2つ楽しめたら出展した方々も楽しめるようなものができたら私はいいなと思います。
- ・国際交流会みたいイベントを開いてほしい
- ・周囲にもっとライトを増やし明るい地域にして頂きたいです。夜中に玄関先によくゴミを捨てられています

○ 子育て・教育・男女共同参画

- ・子育てしやすい環境
- ・子育て支援 不妊治療支援
- ・若い人たちが子に永住してもらえるように子育て補助や教育に予算など重きを置いた方がいいと思う
- ・小児科を増やしてほしい。子供の遊び場、遊具の充実
- ・子育て支援の充実

○生活関連サービス・生活費

- ・公共料金等の値上げ
- ・水道代金の値下げ
- ・水道料金の高さをなんとかして
- ・水道代が高い
- ・水道光熱費、ゴミ捨て費用が安くなること
- ・光熱費にお金がかかるので、水道代、ゴミ袋代がもう少し安くなり、都市ガスがあればいいと思います。
- ・生活していくには自動車が必要の社会になっており、自動車の維持が大変。水道代、ゴミ袋代も非常に高額で、家賃が都会に比べて安いわけでもなく、基本的な生活費が高い。
- ・ゴミ袋の値段を下げて欲しい
- ・ゴミ袋が高い
- ・ゴミ袋が安くなればよい。JRの複線化。
- ・交通機関が便利になったらよい
- ・電車がないので不便です。
- ・路線バス等の移動手段の充実
- ・自動車に乗れなくなっても買い物、通院などに困らない移動手段の充実
- ・家賃相場がもう少し安くなればいいと思う
- ・高齢者になってからの移動手段の充実

- ・住民税等の減税
- ・補助金等の充実
- ・祖母の家の改修費等の補助があれば、定住しやすいが整理が出来れば転居を考慮している。

○福祉・医療

- ・福祉がいいです
- ・高齢者への介護等が充実すること
- ・平均以下の所得者に対する金銭援助

○その他

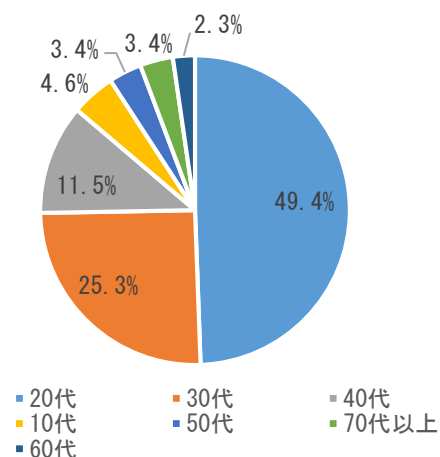
- ・自然破壊がないように。オーバーツーリズムによる環境問題がないように。夫との老後の家を建てるために先に移住し、今月上棟式です。購入した田、畑の中で宅地に変更可能と教えてくださった市役所の方、ありがとうございます。
- ・定住するには、町のしがらみが強すぎる。
- ・まだわかりません
- ・高齢者世代ばかりではぼろ成り立っておらず、若い世代ばかりに負担がかかる町内会の制度、祭りなどの宗教行事の廃止。
- ・考えが古い人が多いので、もっと受け入れ体制をよくしないと
- ・この街が大好きです
- ・特に無し
- ・自治会費が高いので補助して欲しい
- ・遊具がある公園がないのが苦痛なので丹波市を出て引っ越します。
- ・所得面でのメリット
- ・健康と人間関係
- ・利便性、安全、新しいことを受け入れる住民の理解
- ・ベンリ

3 調査結果（転出者）

（1）回答者の年齢（選択式）

回答者の年齢は、20代だけで全体の半数近くとなったが前回よりは減少した一方で、30代が4.0ポイント増えた。その他の世代についても20代と60代を除き、前回より増えた。

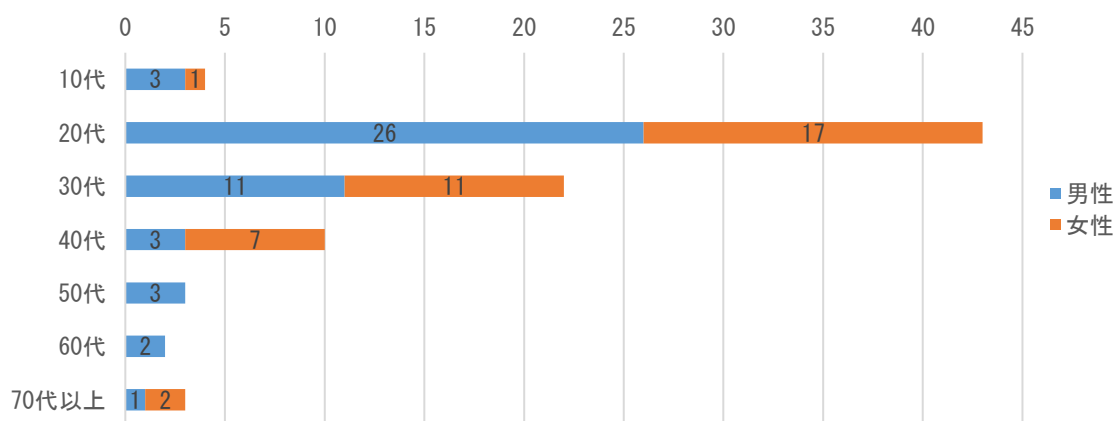
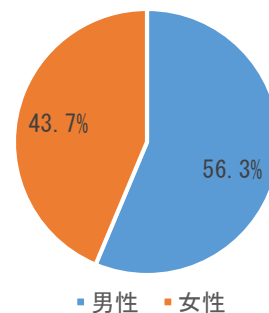
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
20代	43	49.4%	27	57.4%
30代	22	25.3%	10	21.3%
40代	10	11.5%	5	10.6%
10代	4	4.6%	1	2.1%
50代	3	3.4%	1	2.1%
70代以上	3	3.4%	1	2.1%
60代	2	2.3%	2	4.3%
合計	87		47	



（2）回答者の性別（選択式）

回答者の性別は、男性が56.3%、女性が43.7%だった。前回は20代女性が全体の4割以上だったが、今回は20代男性が約3割、20代女性も約2割だった。

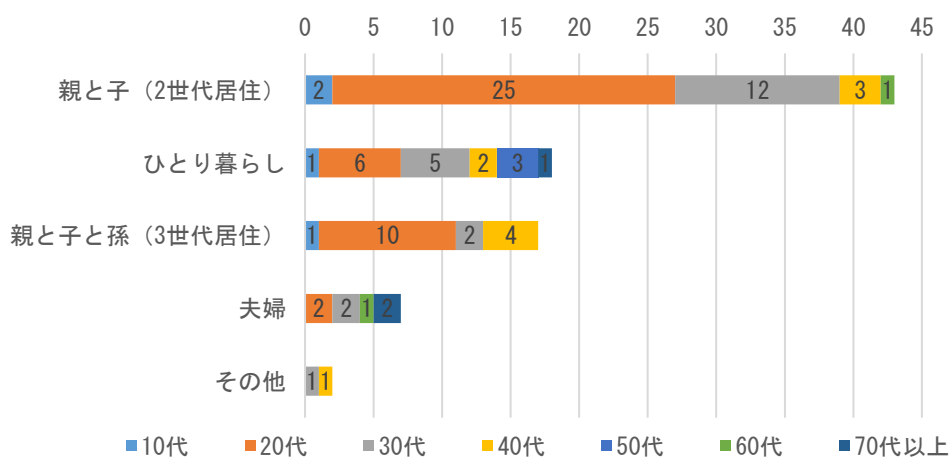
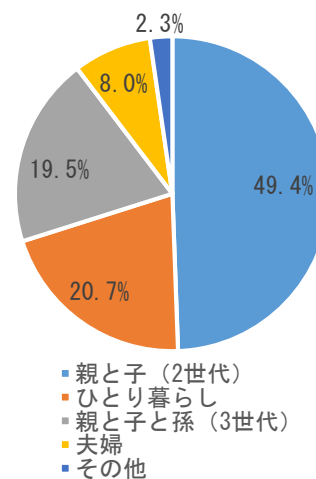
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
男性	49	56.3%	13	27.7%
女性	38	43.7%	34	72.3%
合計	87		47	



（３）回答者の丹波市在住時の家族構成（選択式）

回答者の丹波市在住時の家族構成は、もっとも多かった「親と子（２世代）」が49.4%、続いて「ひとり暮らし」が20.7%、「親と子と孫（３世代）」が19.5%だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
親と子（２世代）	43	49.4%	24	51.1%
ひとり暮らし	18	20.7%	8	17.0%
親と子と孫（３世代）	17	19.5%	9	19.1%
夫婦	7	8.0%	5	10.6%
その他	2	2.3%	1	2.1%
合計	87		47	

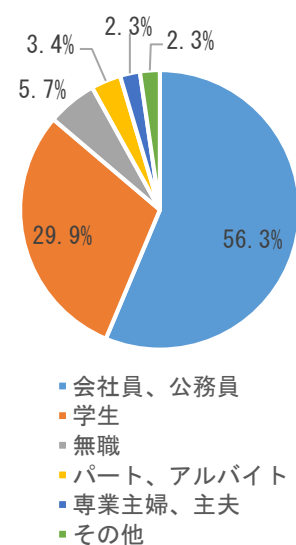
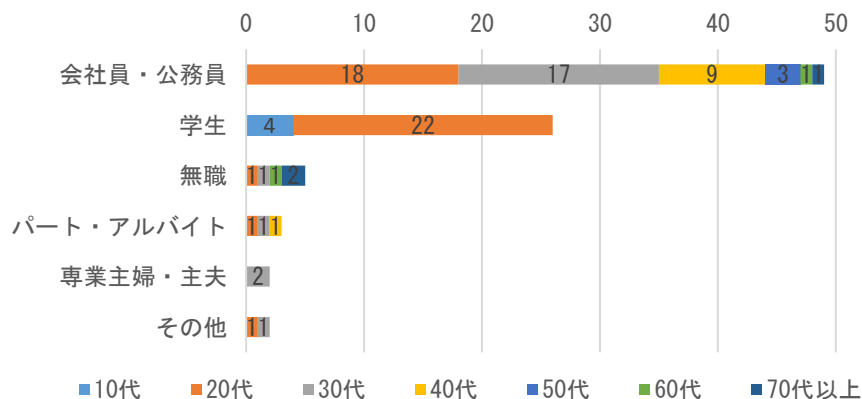


（４）回答者の丹波市在住時の職業（選択式）

回答者の職業は、「会社員、公務員」が56.3%と過半数を占め、「学生」29.9%、２つで全体の86.2%を占めている。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
会社員、公務員	49	56.3%	23	48.9%
学生	26	29.9%	13	27.7%
無職	5	5.7%	2	4.3%
パート、アルバイト	3	3.4%	3	6.4%

専業主婦、主夫	2	2.3%	1	2.1%
自営業	0	-	3	6.4%
その他	2	2.3%	2	4.3%
合計	87		47	



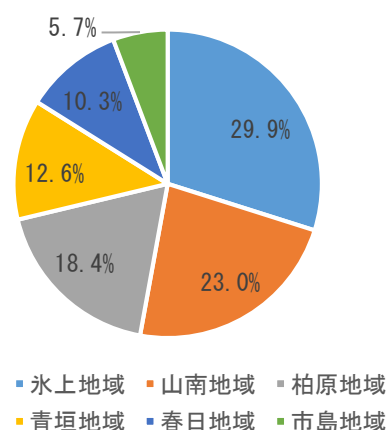
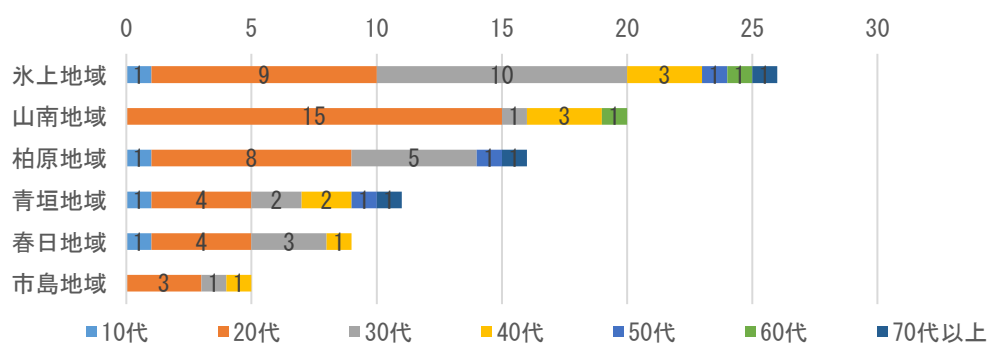
[その他の内容]

看護師

(5) 回答者の丹波市でのお住まいの地域（選択式）

回答者の居住地域は、氷上地域29.9%、山南地域23.0%、柏原地域18.4%、青垣地域12.6%、春日地域10.3%、市島地域5.7%だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
氷上地域	26	29.9%	10	21.3%
山南地域	20	23.0%	11	23.4%
柏原地域	16	18.4%	10	21.3%
青垣地域	11	12.6%	1	2.1%
春日地域	9	10.3%	9	19.1%
市島地域	5	5.7%	6	12.8%
合計	87		47	

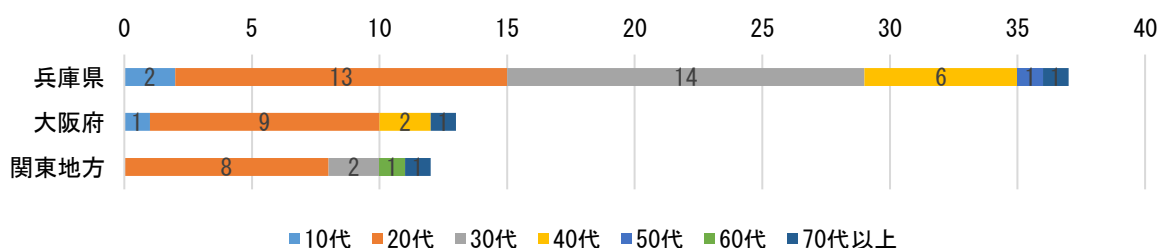
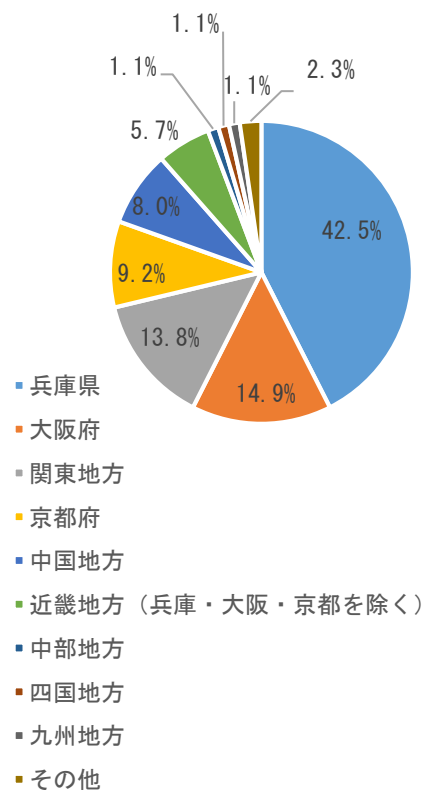


(6) 丹波市転出後の居住地（選択式）

回答者の転出後の居住地は、最も多い兵庫県内が8.5ポイント増えたほか、関東地方も7.4ポイント増えた一方、大阪府、京都府が減った。

市区町村別では、神戸市（13人）、尼崎市・大阪府大阪市（5人）、三田市・西宮市・福知山市（4人）が多かった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
兵庫県	37	42.5%	16	34.0%
大阪府	13	14.9%	9	19.1%
関東地方	12	13.8%	3	6.4%
京都府	8	9.2%	9	19.1%
中国地方	7	8.0%	1	2.1%
近畿地方（兵庫県、大阪府、京都府を除く）	5	5.7%	1	2.1%
中部地方	1	1.1%	3	6.4%
四国地方	1	1.1%	1	2.1%
九州地方	1	1.1%	2	4.3%
北海道	0	-	1	2.1%
その他	2	2.3%	1	2.1%
合計	87		47	



[上位3地域の詳細内訳]

○ 兵庫県（37）

神戸市（13）、尼崎市（5）、三田市・西宮市（4）、丹波篠山市（3）、姫路市（2）、伊丹市・加西市・加東市・西脇市・多可町・猪名川町（1）

○ 大阪府（13）

大阪市（5）、豊中市（2）、大阪府・茨木市・寝屋川市・吹田市・東大阪市・豊能町（1）

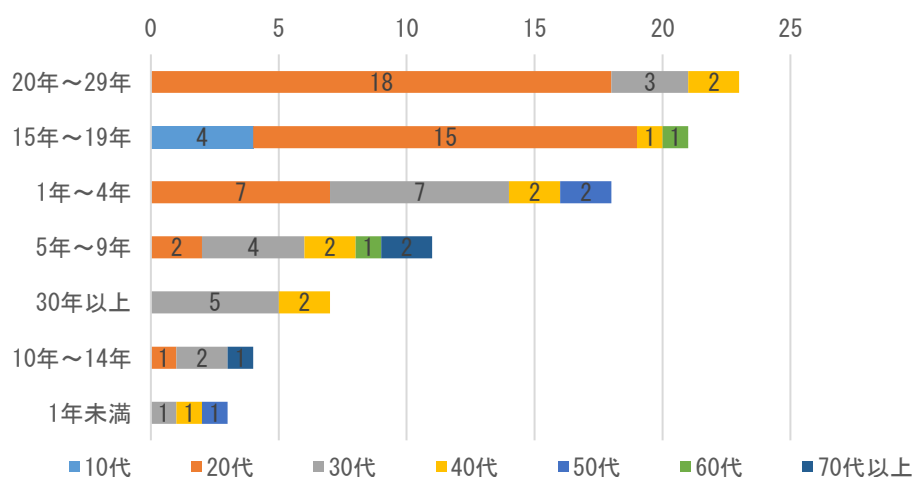
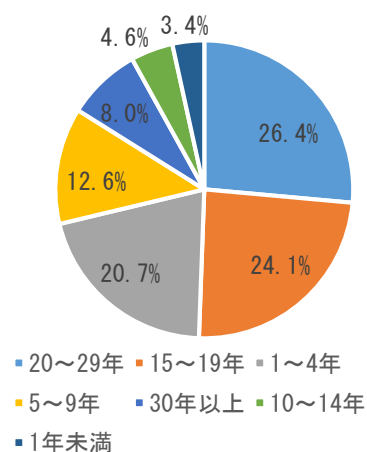
○ 関東地方（12）

東京都内（7）・神奈川県内（3）、茨城県内（2）

(7) 丹波市での居住期間（記述式）

回答者の転出前の居住地での居住期間は、20～29年が26.4%、15～19年が24.1%、1～4年が20.7%だった。20代の72.1%（31人）が18年以上の年数を回答した。

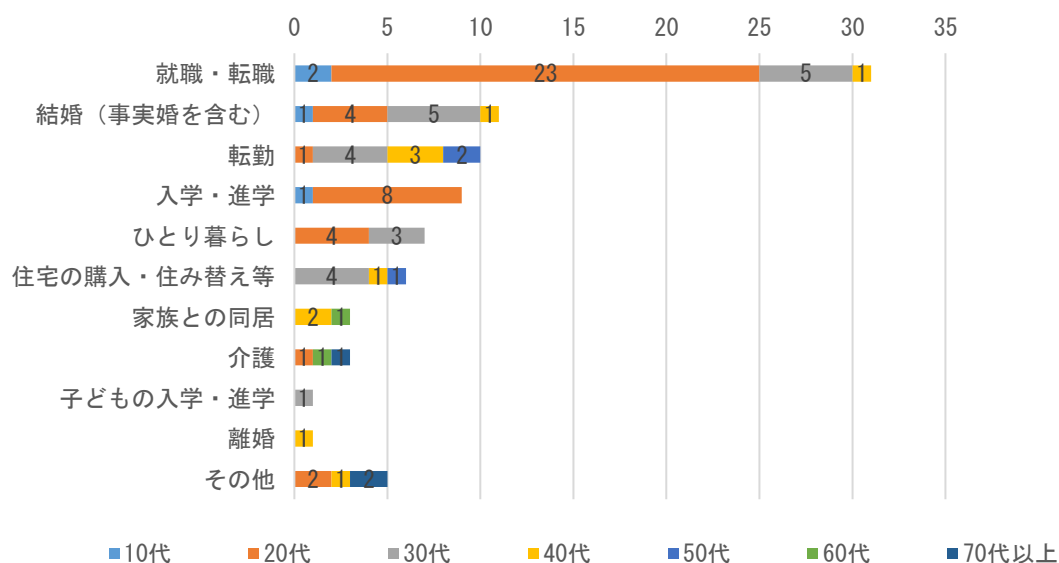
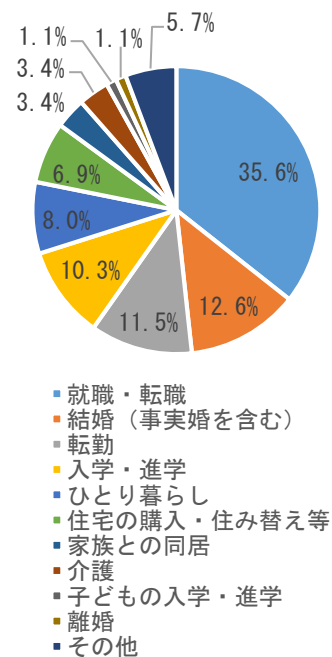
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
20～29年	23	26.4%	15	31.9%
15～19年	21	24.1%	11	23.4%
1～4年	18	20.7%	8	17.0%
5～9年	11	12.6%	1	2.1%
30年以上	7	8.0%	6	12.8%
10～14年	4	4.6%	4	8.5%
1年未満	3	3.4%	2	4.3%
合計	87		47	



(8) 丹波市から転出したきっかけ（選択式）

丹波市から転出したきっかけでは、「就職・転職」が7.0ポイント、「結婚（事実婚を含む）」が10.8ポイント、「住宅の購入・住み替え等」が5.9ポイント減った一方、「転勤」が9.4ポイント、「入学・進学」が6.0ポイント、「ひとり暮らし」が5.9ポイント増えた。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
就職・転職	31	35.6%	20	42.6%
結婚 (事実婚を含む)	11	12.6%	11	23.4%
転勤	10	11.5%	1	2.1%
入学・進学	9	10.3%	2	4.3%
ひとり暮らし	7	8.0%	1	2.1%
住宅の購入 ・住み替え等	6	6.9%	6	12.8%
家族との同居	3	3.4%	0	-
介護	3	3.4%	0	-
子どもの入学・進学	1	1.1%	2	4.3%
離婚	1	1.1%	0	-
その他	5	5.7%	4	8.5%
合計	87		47	

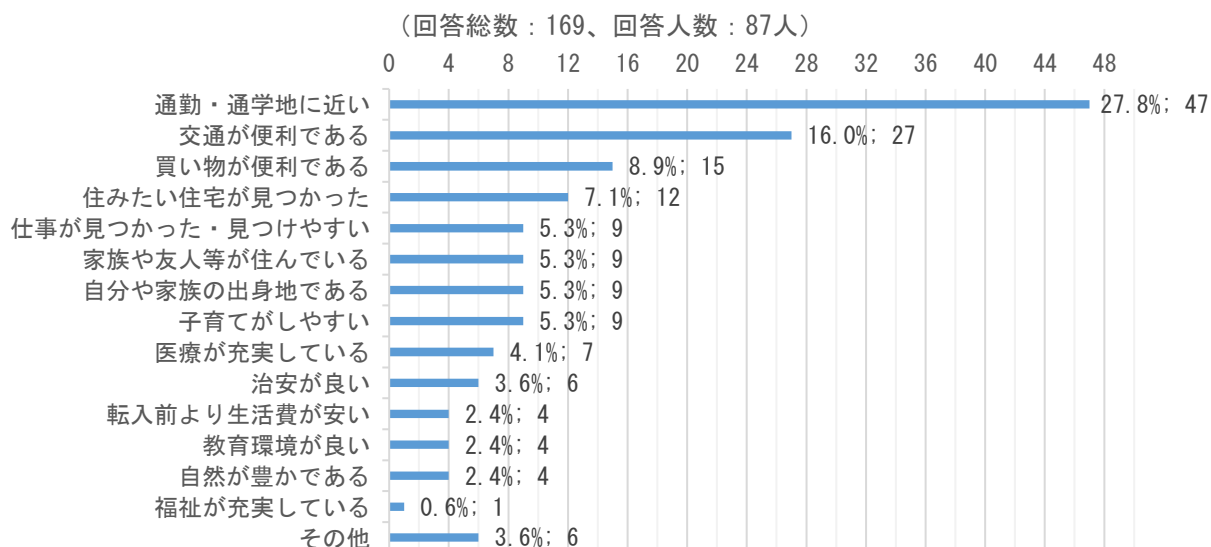


[その他の内容]

定年退職、妊娠・出産、出会いがない、高齢になり子どもが暮らす関東に帰った

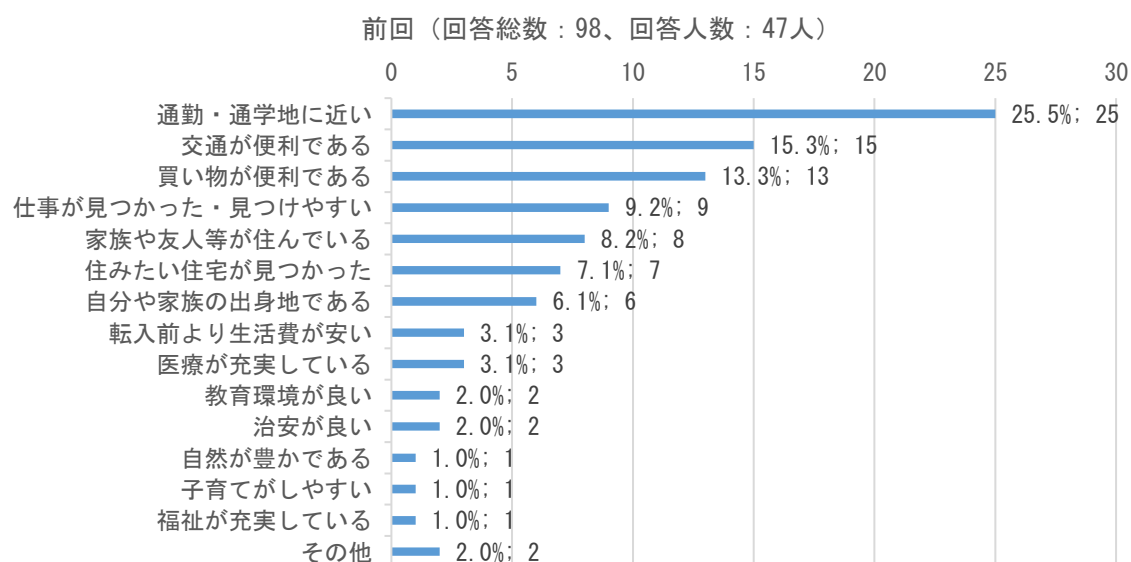
(9) 現在の居住地を転出先として選んだ理由（選択式）

転出先として選んだ理由は、「通勤・通学地に近い」27.8%、「交通が便利である」16.0%、「買い物が便利である」8.9%となった。



[その他の内容]

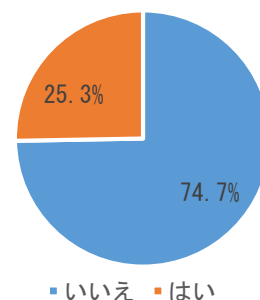
夫の仕事場から近い、時給が高い仕事が比較的多い、社宅、丹波市ではできないことができるから、妻の実家に近い

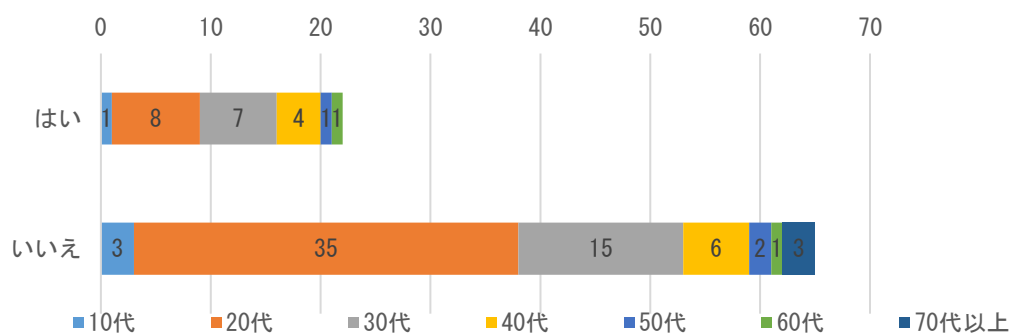


(10) 移住先を検討する際、今の居住地以外の自治体を検討しましたか。(選択式)

「はい」と答えた回答者が74.7%、「いいえ」が25.3%だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
いいえ	65	74.7%	34	72.3%
はい	22	25.3%	13	27.7%
合計	87		47	





[他に検討した自治体（回答総数:21、回答人数17人）]

転出時に検討した自治体は、神戸市・西宮市が3、三田市・明石市・尼崎市・伊丹市・姫路市・三木市・芦屋市・宍粟市・京都府福知山市・大阪府豊中市・大阪府池田市・大阪府茨木市・神奈川県横浜市・茨城県つくば市・茨城県石岡市が1ずつだった。

(11) これから丹波市がどうなれば、どういうことがあれば丹波市へ帰ってきたい
と思いますか。

(回答者 55 人)

○ 全般

- ・企業を増やす取り組み。交通の改善
- ・都会で生活が便利になったら。高齢化じゃなくなったら
- ・スーパーや店が増える、時給が高い仕事が増える
- ・医療機関、スーパーなどへの移動手段の充実。移住者、子育て支援策の充実。
- ・経済的な支援があるなど
- ・やりたい仕事がある、仕事の選択肢が多いこと。子育てがしやすい環境。友達も丹波市に帰ってくる。家族が丹波市にいること。帰らせようとする圧がないこと。
- ・交通が便利になり、若者への補助金などのサポートがあったらと丹波が好きなので仕事が上手に行かなかったら帰りたい
- ・病院、特に小児科の対応が早くなれば良い、現在時間がかかりすぎている。ゴミ袋の金額が高すぎる。少しの差でも、日々のことになるので嫌であった。
- ・土地代が高いことが解消される、ゴミ袋代(10月から値下げですがそれでも高い)がもう少し安価になるなど。住んでいたところの土地や周囲の環境などを手放してまで、時間やお金を使っても移住したいと思う要素が増えれば、住む人も増えると思います。

○ 移住 (Uターン)

- ・移住支援(補助金など)が周辺自治体と比べて弱い感じがします。関東からの移住者と限定した支援があったと思いますが、もっと京阪神圏からの移住者支援に乗り出して欲しいです。見ず知らずの遠くの土地より、身近な地方に移住の方がハードルが低くて人を呼び込みやすいと思うのですが、どうでしょうか？ご検討ください。

○ 就職・仕事

- ・働く所がもっとあれば良いなと思います。(人が辞めにくいのもあり、新しい職場を探すとなったら求人が限られている。)
- ・仕事があったら
- ・自分の働きたい企業を見つけたら今すぐにでも帰りたい。
- ・希望する職種を探すことが難しかったため、就業場所及び職業選択の幅が広がったら考えると思う
- ・仕事があれば
- ・良い仕事があったら、帰って来たい。
- ・もっと働くところの選択肢が増えたら
- ・7年前に東京都から丹波市に転入して昨年10月に定年退職し、介護のこともあり妻の実家、大阪府に転出しました。実は転入の際に20代の息子も同伴しました。ハローワークを通じ丹波市内で職を探しましたが、いずれの企業も面接審査が厳しく職を得ることができませんでした。仕方なく大阪府下で求職し、現在まで有名病院で介護福祉士として勤務しています。彼が丹波市内で就職できておれば、転出することなく家族で丹波移住の選択肢もあったと考えております。若い世代であれば容易に職を提供できる丹波市であつたらと惜しまれます。尚、私自身はNPO活動を続けており、丹波市にほぼ定期的に帰っております。

○ まちの環境

- ・イオンモール等の大型ショッピングセンターを希望

- ・都会になれば
- ・徒歩移動で物事が完結したら。

○ 子育て・教育・男女共同参画

- ・子育てにてあつい
- ・子供の遊ぶところが増えて欲しい
- ・子育て支援が充実したら

○ 医療・生活関連サービス・生活費

- ・交通アクセスの不便さの解消
- ・交通の便が良くなれば考える（車の運転がいつまでも出来ない）
- ・定年退職後、年寄りが生活出来る環境（交通等）があれば
- ・自動車がなくとも生活できる環境（バス路線の充実など）
- ・交通の便が良くなったら
- ・ゴミ処理代金が高すぎる
- ・福祉が今よりもさらに充実したら丹波市に戻ろうかと思う。

○ まちづくり

- ・人口が増えて街に活気があると帰りたいと思う
- ・市全体が豊かになってから

○ その他

- ・農業に携われる。
- ・転職等をした際
- ・住み心地も良くて、子育て環境も良くて離れがたかったです。実家で同居することになったので転出しました。
- ・山遊びも川遊びもでき、小学生と未就学児と一緒に遊べるセンターもあるので引越した後も結局丹波で遊んでいます。ありがとうございます。最初はそのまま丹波で就学しても良いかなと思っていましたが、丹波市は自治体の金額が高いこと、地域の昔ながらの行事が多く家族の時間が減ること、小学校の PTA の役員選出時に両親の名前が記載された紙が配られるなど個人情報の取り扱いに疑問があることで、通勤が近い福知山に引越しました。自治会に介入するのは難しいかもしれませんが、もっと民間に業務委託したらよいのになと思います。今の若い人はお金を払ってでも行事や PTA に参加したくない方が多いので。
- ・転勤先が神戸になれば
- ・転勤、転職が再度あれば。また、市政が公約を守る誠実な人物によって行われるなら。
- ・子供が生まれたら帰りたいと思っている、でも主人の仕事上難しいので定年後に帰れたらなと思っている
- ・十分な貯蓄ができ、仕事をリタイアできるようになったら
- ・老健施設でも住所がおけるなら
- ・地元ですし、親も住んでいます。自分自身で身を立てる見通しが出来たら帰りたいと考えています。
- ・恋人がいると、考えます
- ・出産
- ・退職
- ・婚姻関係が解消されたら
- ・もう家建てたので帰れません

- ・別に
- ・二度と行かない
- ・二度と丹波市には行きたくない。
- ・自分の経済的状況から難しいです。
- ・戻りたいと思いません。給料も安いし、派遣業しかない東京会社も少ないと思います。働きにくいところだと思います。
- ・住宅を購入したので帰るのは難しい。親のサポートをするのにたまに帰ることはあるかもしれない。その時に交通の不便さが少しでも解消していると嬉しい。
- ・Vui v? hoen